



一般社団法人
山口県作業療法士会

一般社団法人 山口県作業療法士会

それっちゃ

Yamaguchi



それっちゃデジタル版

巻頭言	2
研修会案内	3
部会・部局より	6
事務局より	10
しっちょる	11
編集後記	12

巻頭言

AI と作業療法士の協働



一般社団法人 山口県作業療法士会
副会長 原 直利

令和 8 年 2 月 13 日、厚生労働省より「医療分野における業務効率化・職場環境改善支援事業」の実施が通知されました。ICT 導入による業務効率化を支援するための費用、最大 8000 万円を補助する大型支援策です。この支援策では、記録時間の削減を目指し、そこで早期リハ介入率の向上を目指すという目的があります。当院のリハ部門でも ICT 導入に向けた検討が行われているところです。特に、医療用生成 AI を導入することで、カルテ記載業務や書類作成業務が効率的に行えるようになるとのことでした。

背景には当然、様々な領域における生成 AI 活用があると思います。私も学会発表用のデータ整理の補助として生成 AI を利用させてもらいました。限られた時間を有効に活用するためにはとても便利なものだと思います。一方で、利用してみた際に不安も感じました。生成 AI には誤った情報が含まれるということは既に周知の事実ではありますが、私が気になったのは別の点です。生成 AI は、こちらがプロンプトを入力すると即時に答えを返してくれます。本来であれば、このプロンプトに対して、自らが答えに至るために情報を集め、整理し、思考を重ねていたはずですが、生成 AI を利用するとこのプロセスが無くなってしまいます。答えは正しいとしても、そのプロセスを経っていない自分は成長できたのだろうかという不安を感じたのです。

作業療法は、結果だけではなく、プロセスを大事にする職種だと思っています。対象者がどのように試行錯誤したのか、どのような意味付けをしながら作業に取り組むのか、プロセスを飛ばして結果を出す AI にはその答えの背景にある文脈や、価値を十分に含めることができません。作業療法士は AI に取って代わられることのない職種だということはかなり前から言われています。しかし、AI に頼って答えを得ることに慣れてしまったとしたら、作業療法士は作業療法を実践していると言えるのでしょうか。

一方で最初の ICT 導入の目的に立ち返ってみると、業務時間の削減や書類作成の効率化を目的に補助金を出すということでした。もし削減された時間を対象者と向き合う時間として使えるようになれば、よりよい作業療法を提供することにつながるはずですが。

作業療法士として考え続けることを忘れず、AI とうまく協働していく。これからはより一層そのような作業の在り方を模索していくことが、より一層求められていくのではないかと感じています。

研修会案内

県士会主催の研修会案内

第 37 回 山口県作業療法学会のご案内 と 演題募集 について

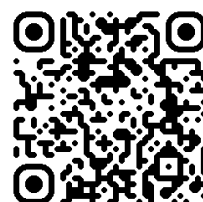
この度、下記の内容で第 37 回山口県作業療法学会を開催することとなりました。今回は宇部小野田地区が担当します。今年も対面での開催を予定しておりますので、詳細が決まり次第、随時案内いたします。

つきましては、会員の皆様より一般演題を募集しますので、多数の応募をお願い申し上げます。

【学会概要】

1. 学会の名称：第 37 回山口県作業療法学会
2. 学会テーマ：「多様性を支えるスマート OT」
— 人・技術・環境をつないで拓く主体的リハと地域共生 —
3. 会 期：令和 8 年 9 月 27 日（日）
4. 会 場：専門学校 YIC リハビリテーション大学校
5. 開催形式：対面開催
6. 基調講演：株式会社アシテック・オコ
代表取締役 小林 大作 氏（作業療法士）
7. 一般演題募集意思表示：一次募集締め切り 4 月 15 日（水）
登録フォーム：<https://forms.gle/mKXdfU5w9irNW43g7>
登録フォーム用 QR コード→
8. 発表方法
 - ① 口述発表 発表時間 7 分、質疑応答 3 分
 - ② ポスター発表 発表時間 7 分、質疑応答 3 分

※ 演題募集に関するお問い合わせにつきましては、第 37 回山口県作業療法学会一般演題係までお願い致します。※1 人一演題でお願いいたします。
9. 演題数:20 演題を上限とします。
※今回の学会では、査読時に提出していただくデータは論文形式です。
また、査読完了後、演題が採択された場合に抄録を作成していただきます。



問い合わせ先

【第 37 回山口県作業療法学会一般演題係】

〒755-0151 宇部市大字西岐波 750 番

宇部中央病院 天野真理子

TEL：0836-51-9461

Mail：ubeonoda.endai@gmail.com



他団体主催の研修会案内

第38回日本ハンドセラピィ学会学術集会のお知らせ

1. 会 長：山田 玄太（愛野記念病院 手外科センター）
2. 会 期：R8年4月11日（土）・12日（日）
3. 会 場：博多国際展示場&カンファレンスセンター
（〒812-0008 福岡県福岡市博多区東光 2-22-15）
4. 開催形式：現地開催 + オンデマンド配信
5. テー マ：原点回帰 -基礎から始まる新たなる挑戦
- Return to the Basics -A New Challenge Starting from the Foundations
6. 会 費：会員 15000 円 非会員 16000 円
7. U R L：<https://38.jhts.com/>
8. 【プログラム】
9. 特別講演：TFCC 損傷の基礎と臨床 中村俊康先生（国際医療福祉大学医学部整形外科）
10. 教育講演：手・上肢の構造・機能と進化 玉井誠先生（医）手のクリニック）
メノポハンドを知る 平瀬 雄一先生（東京ミッドタウンクリニック手外科）
Professional seminar：飯塚照史先生（奈良学園大学）
First Step Seminar：横山亜紀子先生，高島広樹先生，谷口しのぶ先生
Next Step seminar：武藤光弘先生，古田裕之先生，清永健治先生
Expert seminar：広瀬富二先生，渡邊政男先生，澤田歩先生，
Hand therapy で目指すべきパフォーマンス Useful hand の再考
海外招待講演、国際コラボシンポジウムなど、シンポジウム、各種セミナー、一般演題など

第18回 維新リハビリテーション研究会 開催のお知らせ

平素より当研究会にご支援頂きまして誠にありがとうございます。

第18回 維新リハビリテーション研究会を下記の通り実施致します。要項をご一読のうえ、下記QRコードより参加案内希望のご登録をお願い致します。ご登録頂きましたアドレスに当日の案内をお送りいたします。前回の募集にてご連絡を頂いた先生は、ご登録は不要です。

1. 日 時：R8年5月13日（水） 18:30 から 20:00
2. 開催形式：Web（ZOOM）
3. 参加費：無料
4. 生涯教育：日本作業療法士会 基礎ポイント1ポイント
5. 内 容：脳神経外科 総論：「CI療法の概要～
「行動」から紐解く麻痺側上肢へのアプローチ」18:30～19:00
整形外科 総論：「手指の解剖」19:00～19:30
整形外科 各論：「手指の疾患」19:30～20:00
6. 講 師：
 - ① 森脇 善幸：メンタル訪問看護ステーション conamu 周南
専門作業療法士(脳血管障害) 認定作業療法士
 - ② 相田 芳徳：済生会下関総合病院
認定ハンドセラピスト 認定作業療法士 骨粗鬆症マネージャー

7. 注 意 点 :

1. 参加証明書配布のためインターネット環境下のPCで参加をお願いします
2. 1名につき1つのアドレスでご登録下さい
3. 病院、施設などのアドレスは避け、個人のメールアドレスをご登録ください
4. 複数人での視聴は可能ですが、ポイントはご登録のアドレスの方のみと
5. 講義中に提示したスライドなどの資料配布はありません



8. 問い合わせ先

維新リハビリテーション研究会 森脇 善幸 (もりわき よしゆき)

メールアドレス : ishin.rehabili@gmail.com

日本コアコンディショニング協会 ベーシックセブンセミナー開催のご案内

臨床や運動指導の場面で「姿勢」「体幹機能」に課題を感じていませんか？

本セミナーはコアコンディショニングメソッドの入り口となる基礎セミナーとなります。

「少し気になる」「一度学んでみたい」そんなお気持ちがあれば十分です。学びの第一歩として、ぜひ気軽にご参加ください。皆さまとお会いできることを楽しみにしております

1. 内 容 : コアコンディショニングの基礎理論・ベーシックセブンの実技習得
2. 日 時 : R8年6月14日(日) 9:30~12:30
3. 会 場 : 学校法人山口コア学園山口コ・メディカル学院 (第2 治療室)
4. 定 員 : 10名(先着)
5. 参 加 費 : 9,900円
6. 申込方法 :
日本コアコンディショニング協会のセミナー検索ページ
7. <https://jcca-net.com/sys/seminar/search/22459>
8. 問い合わせ先
山口コ・メディカル学院 徳若雅之 m-tokuwaka@ptotst.ac.jp



2026年度定期総会のお知らせ

2026年5月17日(日) 山口県作業療法士会定期総会を開催いたします。

今年度は昨年同様、対面+オンラインのハイブリッド開催を予定しております。

4月下旬にはお手元に議案書等詳細の案内が届く予定です。

ぜひご参加ください。

場所：山口県健康づくりセンター (山口市吉敷下東3丁目1-1)



部会・部局より

MTDLP 指導者になるまでの道のり 生活史から生活行為へ —MTDLP 指導者として現場で感じていること—

介護老人保健施設サンライズ 21 の安田です。このたび MTDLP 指導者を取得しました。本稿では、実践を通して感じた意義や課題を、現場の視点から整理します。

1. 最初の戸惑い—事例選択の壁

MTDLP に初めて取り組もうとした際、私は「MTDLP にふさわしい特別な事例」を探そうとしていました。その結果、かえって事例が決まりませんでした。しかし振り返ると、特別である必要はなく、日常臨床の中に十分な実践がありました。普段行っている作業療法を、構造的に整理すればよかったのだと気づきました。

2. ICF 整理でのつまずき

最も難しかったのは、強みや制限因子を ICF で整理することでした。特に、「今伝えたい内容は活動レベルなのか、それとも心身機能レベルなのか」という点で迷いました。生活行為を軸にしているつもりでも、説明を深めるうちに心身機能へ戻ってしまう。この点は書き方研修や事例検討会、口頭試問でも繰り返し指摘された部分でした。

3. 書き方研修で気づいた自分の思考

一方で、研修を通して明確になったことがあります。私の思考は常に対象者の生活史から出発していました。どのような人生を歩み、何を大切にしてきたのか。そこから生活行為を再構築しようとしていたのです。しかし、その流れを ICF の構造で示すことが十分にできていませんでした。生活史という物語を、構造として説明できるようになることが大きな学びでした。

4. 口頭試問という対話の場

口頭試問では開始時間を誤り遅れて参加するという失敗もあり、当初は冷静ではありませんでした。しかし実際は対話的で温かな雰囲気でした。問われたのは、MTDLP に沿って実践できているか、多職種と関わっているか、そして主人公が対象者であるかという点でした。

終了直後は自信が持てませんでしたが、シートの記載不備に対しても具体的な助言をいただきました。口頭試問は評価の場であると同時に、自身の実践をより構造化する機会であったと感じています。

5. 現場で感じている意義と課題

通所リハの現場では、身体機能が改善しても生活が広がらない場面に直面します。評価上は可能であっても生活では実施されない行為がある。その背景には不安や役割の変化、環境との関係性があります。

一方で、通所リハは限られた時間と集団環境の中で支援を行う場でもあります。生活行為の個別目標を深く掘り下げる時間の確保や、多職種に伝わる言語化には課題があります。それでも生活行為を共通言語とすることは、支援の焦点を明確にする上で大きな意義があります。

6. これから取り組む先生方へ

特別な事例でなければ報告できないということはありません。普段、対象者のために実践している作業療法を見つめ直してことから始めてよいのだと思います。対象者と生活行為は切り離せないものであり、そこには必ずエピソードがあります。

また、回復過程のどの時期であっても、関わりはリハ職だけではなく、「こうなりたい」という思いも時期によって変化します。その変化を丁寧に捉え、生活行為として整理することが MTDLP の本質ではないでしょうか。

MTDLPは特別な技法というより、日々の実践を構造化する枠組みです。生活史を起点に、生活行為を通して医学モデルと社会モデルを接続する。その営みを、県内の皆様とともに深めていければと考えています。

介護老人保健施設サンライズ21 安田貴士

司法領域推進委員会より

～司法領域の動き、知っちゃいますか？～

みなさん、実は山口県でも少しずつ新しい動きが出てきています。その背景の一つが、2025年6月から施行された「拘禁刑」です。

これまでの法律では、刑罰には「懲役刑」と「禁錮刑」がありましたが、この二つが一本化され、「拘禁刑」となりました。大きなポイントは、刑務所の役割の考え方です。これまでの「懲罰」中心から、「更生支援」中心へと大きく舵が切られました。そのため、個々の特性に応じた処遇や、高齢受刑者や精神障害のある方への支援、矯正プログラムの見直しなどが進められています。医療・福祉職の関わりも、これまで以上に重要になってきています。

こうした流れの中で、山口県でも刑務所との連携が少しずつ進んできています。

現在、県内では山口刑務所や岩国刑務所との関わりが広がりつつあります。

岩国刑務所では、これまで非常勤の作業療法士が関わり、「作業適性の評価」「認知機能へのアプローチ」「高齢受刑者への支援」などに取り組んでこられました。受刑者の年齢は24歳から90歳までと幅広く、その中で精神障害を抱える方が6割以上とも言われています。

そうした中、岩国刑務所で常勤の作業療法士1名と非常勤作業療法士2名募集と県士会にも情報が届きました。現在、非常勤2名募集中（3/18時点 詳細はハローワークの求人をご確認ください）。これは、これまで刑務所で関わってきた作業療法士の実践の積み重ねや、日本作業療法士協会が法務省へ提案や働きかけを続けてきたことが背景にあり大きな前進でもあります。今回の常勤作業療法士募集は、令和8年4月採用として全国6か所で行われており、その一つに岩国刑務所も含まれています。

また昨年からは、山口刑務所からの依頼もあり、作業療法士が関わる取り組みの検討が始まりました。現在、刑務所との連携や評価の仕組みづくりなどを進めながら、作業療法を活用した支援の可能性を探っているところです。

今、作業療法士は、各分野で、医療・福祉・地域をつなぐ専門職としての役割が広がっています。司法領域は、これまで作業療法士にとってあまり身近な分野ではなかったかもしれませんが、制度の変化の追い風もあり、少しずつ活動の場が広がっています。山口県では、作業療法士が地域・各分野で求められ、活躍の場を広げています。

最後にひとこと。

興味のある方は、ぜひ一緒に司法領域の活動に関わっていただけたらうれしいです。よろしくお願いいたします。

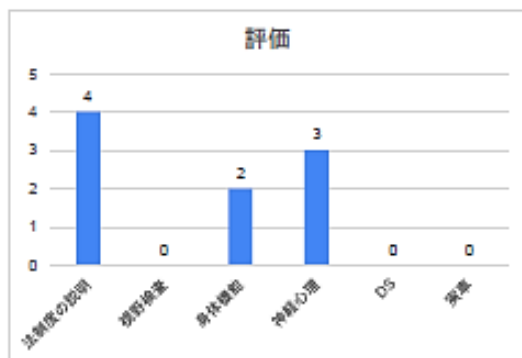
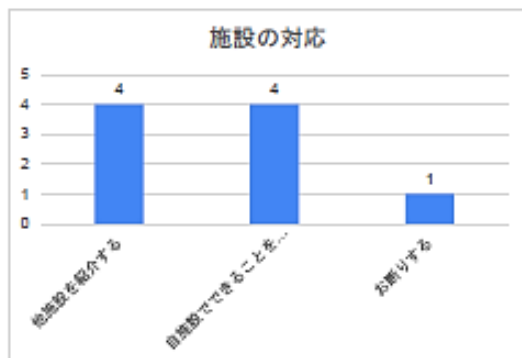
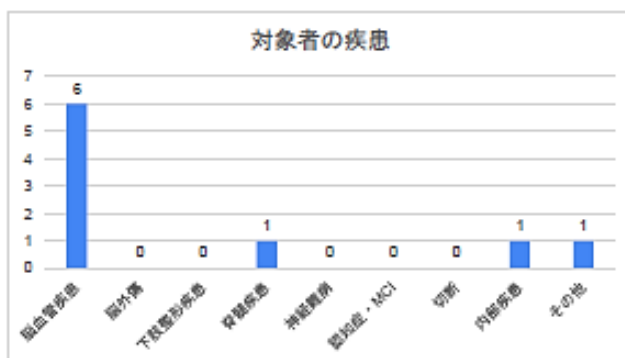
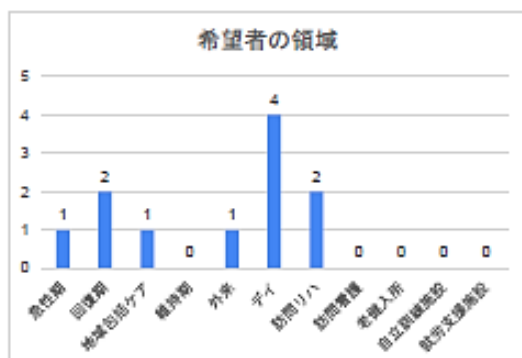
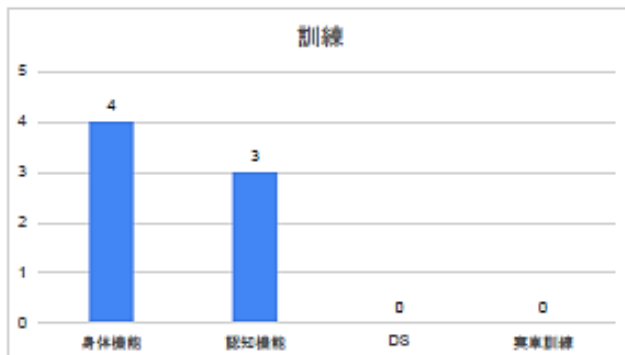
山口県作業療法士会 司法領域推進委員会
吉南病院 池田晶代

運転と地域移動支援委員会だより ～施設状況アンケートの結果⑥～

昨年 11 月号より、各施設にご協力いただいているアンケート調査結果の開示を行っています。地区ごとに案内しています。

ご自身の地区の状況や他の地区の状況など、参考になさってください。今回は、岩国地区です。来月は、全県の合計データを案内する予定です。

【岩国地区】 回答：9 件/19 施設 (42.1%)



※それぞれの傾向については、回答率が低く単純に前回結果との比較が行えないため、最後に全体のまとめとして案内できればと思います。

※いったん8月末時点の結果をお伝えしていますが、全体の回答率が32.6%ですので、引き続き回答のご協力をお願いできればと思います。

※アンケートの対象は、会員所属施設（全218施設）としています。

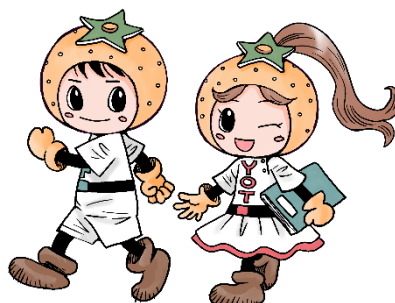
※回答したかどうかわからないという施設の方は、重複しても構いませんので、回答をお願いします。

※他県では、がん患者や介護保険領域での運転支援報告や精神科領域の取り組み、行政事業での相談事例等、少しずつ運転支援に関する報告の領域も拡大している様子があります。また、山口県においても他団体の取り組みではありますが、総合支援学校へのサポートなども報告されています。今後の事業計画にも参考にさせていただけたらと考えていますので、引き続き回答のご協力をお願いいたします。

回答フォーム

<https://forms.gle/dqBErEbhMlps5Xv87>

QRコード



お問い合わせ先

e-mail : drive.reha.yot@gmail.com

りじうら 
 ~理事会裏話~

春を間近に感じる今日この頃、いかがお過ごしでしょうか。春ということは、予算決算、予算決算ということは、春の理事会の季節がきました。

予算においては、組織編制の見直しを行ったうえで、様々な委員会活動などに振り分けられました。ぜひ、興味のある研修会などありましたら、ふるってご参加ください。

研修会の支払い方法がパスマーケットからピーテックスに変更されます。研修会ごとに支払い方法の案内があると思いますので、注意事項をご確認の上、お間違いのないようよろしくお願いいたします。

登録 OT3 万人を目標に、読替え周知強化を行うと共に、解説動画が公開される予定とのことです。協会から情報発信がされると思いますので、各自でご確認のほど、よろしくおねがいたします。

県士会のポロシャツが完成しました。県士会キャラたちは胸元に、バックにはグラデーションのかかった文字がプリントされています。外で活動される県士会スタッフが着用し、啓発に繋がります。みなさんも見る機会があるかもしれませんね。

ずっと言っている気はしますが、インフルとコロナが私たちの近くにおり、依然として罹患者が多い状態です。みなさまに影響がありませんように、、、。では、次回は総会でお会いしましょう!!

事務局より

着文書

(R8. 2. 7～R8. 3. 5)
 <他県士会ニュース>
 兵庫県作業療法士会ニュース No. 89
 長野県作業療法士会ニュース No. 243

施設情報

<新規施設>
 訪問看護ステーション こいふる
 〒754-1277 山口県山口市阿知須 3258-3
 TEL:0836-39-1307 FAX:0836-39-1308

宇部幸楽苑
 〒755-0151 山口県宇部市西岐波 229-3
 TEL:0836-51-3113

財務

3月末令和8年度年会費の振込用紙がお手元に届きます。
 コンビニで振込み可能！！

3月下旬に正会員の方へ令和8年度の会費振込用紙をお届けします。各コンビニから振込みができる振込用紙となっております。
 (郵便局では使用できません。)

8,100円の額面となっておりますが、年会費8,000円にコンビニの振込手数料100円を含めての8,100円です。また、令和6年度会費未納の方には合算して請求させていただいています。

4月末までにR7年度の会費の納入が無い方は、会員資格喪失となります。

4月末までに納付していただいた方には5月末に会員証を送付いたします。

本年度より、遅れて納付した方の会員証は3カ月単位で締めて送付しますので、お手元に届くのが非常に遅くなります。

4月末日までの納付をお願いします。

送付した振込用紙は6月末までしか利用できません。

3月10日時点のデータを元に発送します。お手元に振込用紙が届かない場合は事務局までご連絡ください。4月21日までにお申し出の方のみ再度コンビニ用の振込用紙を送付いたします。

事務局からの連絡が滞りますので、異動の際は早急に異動届を提出してください。

なお、今まで通り郵便局からの振込も可能です。郵便局からお振込みの場合はお手数ですが、郵便局にある振込用紙に会員氏名・OT協会会員番号を記入の上、下記口座にお振込みください。

振込金額は8000円です。

【会費振込先】

郵便振替口座	記号番号：01590-5-11556
	加入者名：山口県作業療法士会
ゆうちょ銀行	一五九支店 当座預金 0011556
	加入者名：山口県作業療法士会

*郵便局より間違えて8100円の納付をされる方がおられます。

8100円の納付があった場合は、返金いたしませんので、ご注意ください。

年会費は8000円です。

お願い

- ・払込受領証を必ず保管しておいてください。
 - ・異動届は必ずご提出ください。(ホームページより手続き可能です)
 - ・県外に行かれる方は、退会届が必要です。
- 不明な点は事務局までお問い合わせください。

お問い合わせ先：山口県作業療法士会事務局
 TEL：083-920-0171

話のネタの
豆知識!

しっちよる？



靴紐について

新年度になり、新しく靴を新調される方も多いのではないのでしょうか？最近ではスリッピンなど、手軽に簡単に履ける靴も増えてきていますが・・・個人的には靴紐がある靴が好きで履き続けています。皆さんはどうでしょうか？そんな新年度が始まった中、新たに靴紐を結びなおし、気持ちも新たに進んでいこう！という勢いで、今回は靴紐について紹介していきます。

【靴紐の形状の種類と特徴】

- 平紐：平らな形状の靴紐：平らなデザインにより見た目がスッキリしており、靴全体の印象を引き締める効果がある。結び目が安定しやすいため、長時間使用しても解けにくいというメリットがある。平紐は靴に接する面積が大きく足の甲全体をしっか押しさえ込むような効果もあり、スポーツ用から普段使いまで幅広く対応している。
- 丸紐：円形の断面を持つ靴紐：円形の断面を持つ靴紐で、その太さによって印象が大きく異なる。細めをチョイスすれば上品な印象になり、太めの丸紐を選ぶとラフな印象になる。平紐と比べると解けやすいという一面もあり、結び目をしっかりと固定する工夫が必要となる。
- 平丸紐（オーバル型）：平紐と丸紐の特徴を併せ持つ靴紐：平紐と丸紐の特徴を併せ持つ形状で、主にランニングシューズやスポーツ用スニーカーに採用されている。足にしっかりとフィットし、運動中でも結び目が安定しやすいのが特徴。

【靴紐の素材による違い】

- コットン素材：柔らかく自然な質感。コットン素材の靴紐は柔らかく自然な質感が特徴。ただし吸水性があるため、雨や水に弱く、汚れが染み込みやすい素材となる。
- ポリエステル素材：高い耐久性と耐水性。高い耐久性と耐水性が特徴で、日常使いやスポーツ用途に最適。色落ちしにくく、長期間使用しても見た目を保ちやすいため、実用性を重視する人におすすめ。
- ポリウレタン素材：高い伸縮性。靴紐は高い伸縮性を兼ね備えており、脱ぎ履きが面倒なスニーカーやフィット感を重視する靴に最適。また、汚れにくくお手入れが簡単な点も魅力。

【靴紐の締め方や特徴】

- オーバーラップシューレーシング
 - 特長／上から下へ左右交互に紐を通す方法。
 - ・紐がゆるみにくく締め付け感が強い。しっか締められるためシューズのサポート感が高い。
 - ・速いスピードで走りたいとき向け。
 - ・締め方が悪いと足の甲が圧迫され、足がしびれてくることもある。
- アンダーラップシューレーシング
 - 特長／下から上へ左右交互に紐を通す方法。
 - ・紐が締めやすく、足なじみが良い。
 - ・圧迫感が少ないため、長い距離をゆっくり走りたいとき向け。
 - ・締め方が悪いと走っている途中で紐がゆるんでしまい、シューズが脱げやすくなることもある。



新年度、新たに靴紐を変えてみたり、締めなおして一步踏み出してみたいかでしょうか(^_^)

記事の掲載依頼について

☆ 原稿締め切り日は定例で毎月第2日曜日としております。(変更の場合あり)
 次回5月号(No.364)は令和8年4月12日が締め切りで、発行日は令和8年5月1日頃です。
 記事掲載希望の方は下記E-MAILアドレスへ送ってください。

E-mail : yot_news@hotmail.co.jp

(書式はWord、フォントは明朝 10.5P 英数字は半角でお願いします。)

*編集の都合上、レイアウト等一部変更させて頂くことがあります。ご了承ください。

☆ ニュースに対するご意見、ご感想をお待ちしています。

<県士会ニュース編集委員会> 編集委員長 : YICリハビリテーション大学校 石丸 拓也
 (TEL) 0836-45-1000 (FAX) 0836-45-1010



山口県作業療法士会
LINE公式アカウント



山口県作業療法士会
公式Instagram



それっちゃんデジタル版

【編集後記】

いよいよ春を迎えて新生活のスタートを切る方も多いと思います。
 我が家では、昨年度様々な変化がありました。
 3人目の子どもを授かったり、長女が小学校へ入学したり・・・
 大変なこともありましたが、変化を楽しめたと思います。
 医療業界もこれから変化が求められる時代に突入していると感じま
 す。
 変化に適応するのはもちろんですが、楽しめたらと思っています。



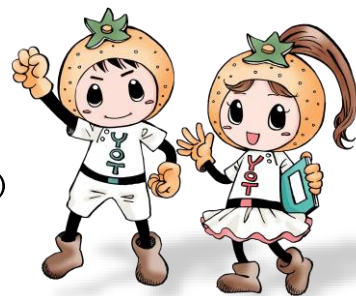
文責：吉長



月1回発行

- 発行：山口県作業療法士会 ニュース編集委員会
- 編集担当：石丸 拓也 (専門学校 YICリハビリテーション大学校)
- 山本 隆次 (医療法人 愛の会 光風園病院)
- 吉長 卓真 (医療法人社団 宇部中央病院)
- 鍵本 州英 (介護老人保健施設 寿光園)
- 岡本 春奈 (リハビリデイサービスプラスワン)

□ 印刷所：社会福祉法人山口県コロニー協会経営 ワークショップ・山口 コロニー印刷



《一般社団法人 山口県作業療法士会 事務局》

〒753-0851 山口県山口市黒川 2572-1 メゾン西京 103

事務 児玉・岡崎(TEL/FAX : 083-920-0171 E-mail : ymgc-ot@ymgcot.onmicrosoft.com)

Web : <http://www.y-ot.jp/>